

3

No. 57

千代田区報

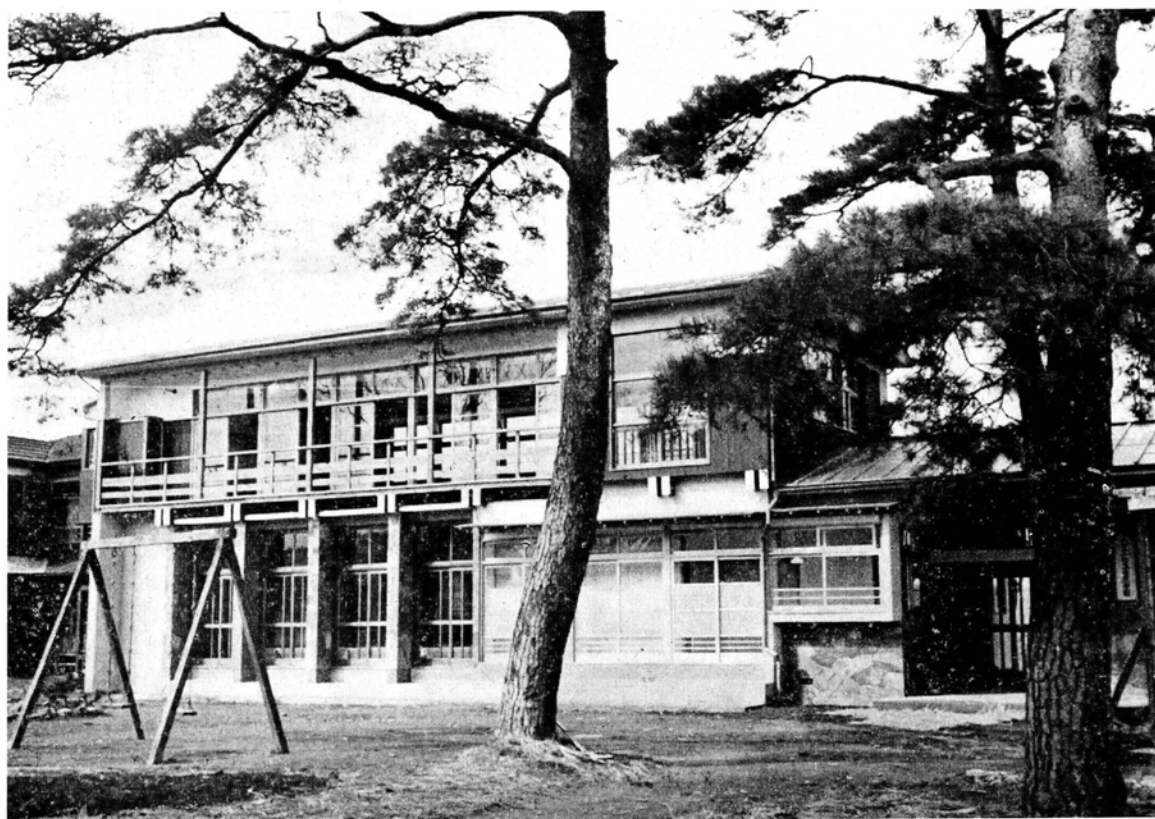
昭和33年 3月10日

千代田区役所

発行

0151
九段33局 8531

毎月1回



改装成る七生自然学園

都下南多摩郡七生村にある千代田区立七生自然学園が、すっかり改装されこのほど完成しました。富士見小学校木造校舎の取こわし材を利用し、新材を補促して工事したもので、工事費 241 万円、今までの、木造の粗末なものから、一躍面目を新たに、写真のようなモダンな園舎になり変りました。改装箇所は、1 階がホール、事務室、玄関、炊事場など約 64 坪、2 階が宿泊室など約 31 坪、夏には林間学校として区内の小学生が 2 泊 3 日ずつ交替でここで過しますが、しゃれたバルコニーから庭の松の枝越しにのどかな田園風景がのまぞれ、多摩の清流も手にとるようです。(写真はてき上った七生自然学園)

第一回区議会定例会招集

33年度当初予算

五億八千二百六十六万余円

ほか13議案を審議

昭和三十三年第一回区議会定例会は十一日午後一時招集、昭和三十三年度東京都千代田区歳入歳出予算案外十三議案につき審議された、提出議案つぎのとおり。

議案第四号職員の手当に関する条例

と及び災害補償諮問委員会金不要の条項を削除するため本案を提出するものであります。

議案第六号東京都千代田区職員条例の一部を改正する条例

議案第六号東京都千代田区職員条例の一部を改正する条例

同条の二の規定により、職員の手当等は条例に定めるものとす。

議案第七号東京都千代田区手数料条例(全部改正)

議案第七号東京都千代田区手数料条例(全部改正)

議案第七号東京都千代田区手数料条例(全部改正)

議案第五号職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

議案第五号職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

議案第八号東京都千代田区長、助役、収入役の給料及び旅費条例の一部を改正する条例

議案第八号東京都千代田区長、助役、収入役の給料及び旅費条例の一部を改正する条例

議案第十号東京都千代田区奨学資金に関する条例

議案第十号東京都千代田区奨学資金に関する条例

議案第十四号寄附金受領の件

議案第十四号寄附金受領の件

められたものであります。その後の経済情勢、就中物価の高騰にかかわらず改正をみず今日に至り、特に昨今の民間給料の増額及び国家公務員、都職員の給料増額、各区に於ける区長金特別職の給料改正が為されるに及び、現行給料の改正の必要が認められるものでこれ等諸般の事情により区長八万、助役六万四千円、収入役五万四千円と改めるため、本案を提示するものであります。

議案第十一号東京都千代田区営運動場使用条例の一部を改正する条例

議案第十一号東京都千代田区営運動場使用条例の一部を改正する条例

議案第十二号道路維持用材料置場用地の取得について

議案第十二号道路維持用材料置場用地の取得について

議案第十三号寄附金受領の件

議案第十四号寄附金受領の件

議案第十五号昭和三十一年度東京都千代田区歳入歳出決算認定の件

議案第十六号昭和三十一年度東京都千代田区歳入歳出追加更正予算

議案第十七号昭和三十一年度東京都千代田区歳入歳出予算

議案第十八号一時借入金に関する件

議案第十九号一時借入金に関する件

議案第二十号一時借入金に関する件

議案第二十一号一時借入金に関する件

議案第二十二号一時借入金に関する件

議案第二十三号一時借入金に関する件

議案第二十四号一時借入金に関する件

議案第二十五号一時借入金に関する件

昭和31年度歳入歳出決算

昭和33年度歳入歳出予算

歳 入

款 別	予 算 額	調 定 額 出	収入済額	割 合	予算額と収入済額との差額
1 特別区税	265,556,958	348,367,641	282,060,565	89	16,503,607
2 公 営 企業収入	12,000,000	16,684,780	16,684,780	100	4,684,780
3 財産収入	510,612	693,107	693,107	100	182,495
4 財政調整交付金	72,041,000	72,041,000	72,041,000	100	
5 使用料及手数料	25,771,230	31,079,416	30,829,269	99	5,058,039
6 都支出金	59,872,607	57,367,940	57,367,940	100	△ 2,504,667
7 寄 附 金	15,546,000	24,347,800	24,347,800	100	8,801,800
8 繰 越 金	60,534,333	60,534,333	60,534,333	100	
9 雑 収 入	36,158,108	60,647,344	59,307,132	97	23,149,024
合 計	547,990,848	671,763,361	603,865,926	89.855	855,875,078

歳 入

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△) 減
1 特別区税	273,545,371	275,711,015	△ 2,165,644
2 公 営 企業収入	12,000,000	8,000,000	4,000,000
3 財産収入	2,150,000	1,640,100	510,000
4 財政調整交付金	92,150,000	47,700,000	44,450,000
5 使用料及手数料	29,426,480	26,399,260	3,027,220
6 都支出金	64,600,165	19,944,794	44,655,371
7 寄 附 金	8,854,000	1,310,000	7,544,000
8 繰 越 金	26,334,683	8,057,704	18,276,979
9 雑 収 入	72,200,276	29,411,799	42,788,477
合 計	581,261,075	418,174,672	163,086,403

歳 出

款 別	予算現額	支出済額	割 合	不 用 額
1 議 会 費	19,836,059	19,471,144	98	364,915
2 区 役 所 費	165,680,447	164,070,089	99	1,610,358
3 土 木 費	73,976,681	72,127,151	97	1,849,530
4 教 育 費	240,249,336	235,123,122	97	5,126,214
5 社会施設費	3,258,180	2,793,416	85	464,764
6 選 挙 費	3,555,780	2,318,498	85	1,237,282
7 監査委員費	495,680	490,902	65	4,778
8 商工観光費	5,161,804	5,042,168	99	119,636
9 徴 税 費	8,040,851	7,845,998	97	194,853
10 公会堂費	15,348,862	14,740,023	96	608,839
11 諸 支 出 金	10,744,557	9,303,228	86	1,441,329
12 予 備 費	1,642,611	0		1,642,611
歳 出 合 計	547,990,848	533,325,739	97	14,665,109

歳 出

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△) 減
1 議 会 費	19,195,720	19,098,243	97,477
2 区役所費	182,756,099	160,698,177	22,057,922
3 土 木 費	93,067,998	43,859,981	49,208,017
4 教 育 費	242,363,991	160,517,328	81,846,663
5 社会施設費	5,269,262	3,190,235	2,079,027
6 選 挙 費	1,432,090	1,134,870	297,220
7 監査委員費	477,880	464,180	13,700
8 商工観光費	7,858,069	4,451,476	3,406,593
9 徴 税 費	9,692,836	8,506,865	1,185,971
10 公会堂費	3,633,764	3,299,817	333,947
11 諸支出金	13,513,366	10,953,500	2,559,866
12 予 備 費	2,000,000	2,000,000	0
合 計	581,261,075	418,174,672	163,086,403

千代田区の十一周年記念日にあたる三月十五日に、区のために功
勞のあつた人が表彰された。この日午前 時から千代田公会堂で
記念式が行われ、これらに区長から表彰状、記念品が
贈られた。また、当日夜には同会で、区役所主催の店員従業員慰
安激励大会があり、三十人の優良従業員が表彰を受けた。

大島義愛、黒川四郎、牧野
佐吉

右は多年町会自治振興に寄与
した

金子兵藏、千葉正義、松下
長平

右は多年統計調査
業務に寄与した

麴町二丁目町会
神保町一丁目北
部町会

佐久間町四丁目
町会

奥村太平

右はハエとりカと
り運動に協力寄与
した

神田講武所納税
貯蓄組合

増田顯邦

右は納税実績の高
掲、納税知識の育
成に寄与した

浅井得二、代田申三、石井
巖、伊藤康人、神尾友彦

右は多年学校衛生事業に寄与
した

隠岐孝治郎

右は多年体育事業に寄与した

郎、小沢福太郎
右は消防団員として寄与した

財務課 主事 岩下 良二

財務課 主事 伊賀 しづ

財務課 主事 吉田 幾郎

財務課 主事 石垣千左夫

戸籍課 主事 大河内匡夫

土木課技師補 藤井 正治

建築課 技師 三田村 勝

技師補 染谷 照

教育委員会 主事 密田 勲

社会教育課主事 志村 勤

図書館 主事 志村 勤

右は職務に努力しその成績優
秀である

富士見小学校長 堀 恒

九段小学校教諭 滝井 梯介

錦華小学校教諭 野村 安俊

細川 輝彦

新津 保則

右は多年児童教育に尽瘁した

千代田区店員従業員被表彰者

(カッコ内は勤続年数)

山根惣次 須田町一ノ三四 錦町

三丁目食糧販売所(十六年)

水戸友次 鎌倉町一 水戸食糧

販売所(十六年)

春谷千代松 渋谷区若木町三四

丸ノ内大手販売所(十六年)

福田美代子 横浜市神奈川区栗田

谷四入 真島商店(八年六月)

大塚昇一 渋谷区金王町四 イケ

ダ商店(八年一月)

佐藤雅男 神保町三ノ一〇 共和

タイヤ工業所(十二年七月)

井戸三郎 神保町三ノ一〇 奥野

運送店(八年七月)

今井万夜子 神保町三ノ二 ヤン

グ管理店(八年)

梅沢義信 須田町一ノ一 キク薬

局(十三年)

関 秀夫 神保町一ノ五六 神田

屋靴店(八年七月)

上野誠吉 飯田町一ノ一三 河合

紙店(八年八月)

榎本和雄 飯田町一ノ一九 三ツ

木園(九年)

為谷一雄 神保町一ノ一〇 クロ

サワ洋品店(十一年)

小川正雄 美土代町七 小川硝子

店(十一年)

秋山治男 美土代町七 小川硝子

店(十年九月)

服田末吉 神保町二ノ四 いりま

すや(二十三年十月)

羽島芳郎 麴町一ノ三 伊勢市酒

店(二十四年)

榎本昭四郎 神保町二ノ五 青木

自転車店(九年三月)

古屋正義 神保町三ノ二 武田時

計店(九年)

「わが子にかぎつて、まさかそんなことを……」という、親の買いかぶりに反して、年ごろのこどもは知らぬうちに悪の道に足を踏み入れる場合が少なくない。殊に少年たちにとつて三月は、進学、卒業、就職の時期で一つの転換期となるわけだが、こうした精神的な動揺、環境の急変はときとして不良化、犯罪

グループ化する不良行為

少年犯罪の実態

こわいぐれん隊との結びつき

化への動機ともなりやすい。警視庁の統計によると、最近の少年犯罪、不良行為は、数的な増加とともに、内容において凶悪、粗暴化の傾向が強く、特徴としてはいちじるしく集団化しているという。

以下、警視庁発行「広報活動」により、少年犯罪の問題点について二、三紹介しよう。

グループ化する動機、その形成過程

危険なグレン隊との結びつき
少年には、模倣性、雷同性などがおとなより強い特性がある。集団性もその一つである。少年同志の精神的なつながり、つまり気の合う仲良し同志のグループとなり、あるいは興味や関心の似通つたもの同志のグループまた、居住地、学校、勤め先が同じであることから親しくなつた環境上のグループとなるが最近の傾向としては、盛り場や知り合つた他校生や、グレン隊と結んでグループ行動をとつたり、少年院、教護院などの施設内で知り合つたグループというのが多くなつてゐる。そして、グループの中では、年長のものの腕力の強いもの、また、非行の経験をもつものなどが、いつの間にかリーダーとしておさまることになる。

グループ犯罪の動機——わずかな心の動揺や好奇心から、こうして

形成されたグループの中には、グレン隊や他校生からかつて受けた被害の報復を企てたり、あるいは集団の威力を背景にして行動するものが非常にめだつてきている。しかし、多くの少年たちは、わずかな心の動揺や好奇心から、深く考えることなくグループの仲間に入り、一人ではできない非行をリーダーに引きずられ、あるいは付和雷同して悪事を行なうのが実情である。犯罪グループといつても、全員が組織的に動くということとは割合に少なく、その中の二、三人、あるいは数人で行動して

麹町小学校

機械化された給食調理室



⑫

ジュニアと景気のよい音を立てて、こんがりとおいしそうに揚つた魚フライが、つぎつぎと取り出され、大きなお釜からは、もうもうとスーパの湯気が立ち上り、調理室一杯に、食欲をそそる香りを漂わせています。すつかり設備変えされた、ここ麹町小学校の給食調理室では、でき上るお料理にまで、何か新鮮味をそえるように、四人の給食係員、それに、ちやうど見習い生にも、能率的に配置された調理器具の間を、働きよさそうに立ち回っています。

いるのが大部分なのである。グループ犯罪の年令、職業——四十八才が危険、殊に中学生

昭和三十一年一月から三十二年九月までの一年九か月間に警視庁が取扱つたグループ事犯は、四、五、人員にして四五〇九人でこれは同期間中の全少年犯罪者の一割四分にあたる。グループ構成の年令は十七才の二割を最高に、十四才から十八才までが八割を占め、この年ごろがいわゆる危険な年ごろといえるようだ。

このうち、学生、生徒は四割八

こうした近代的な調理室ができ上つたのは、昨年の十一月です。同校村山校長のお話では、こどもたちの健康増進のために、給食をおいしく食べてもらうためにも、全校の父兄がこれの実現には協力を惜しまなかつたといふことです。一方、児童も、他校にひけを取らぬ立派な設備が自分の学校にあるというこで、また一つ誇りの種が増えたわけですから、学校給食が実施されたのは、昭和二十二年です。それから十二年の歩みを続けてきたことになりました。この間、どの学校でも切望してきたことは能率的に、ま



た、衛生的に作業するために、なんとか調理室を機械化したいということでした。この学校でもとうとうその希望がかなえられ、約六十坪の調理室には、フライヤー、魚焼器ミキサーなど、かずかずのモダンな機具が入りました。その上で、きつたお料理は、すぐに運搬車にのり、エレベーターで各階へ運ばれるという寸法です。地下室とはいえ、採光のよいこの部屋には、調理機具の真新しいステンレスが、気持のよい光沢を放っていました。

眼で愛情と熱意 年令に応じて少

年に自主性をもたせることが大切であるが、それには常にあた

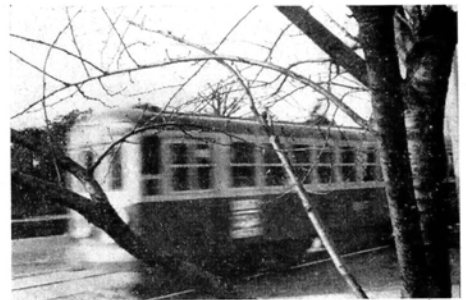
たかき眼で見守つてやる愛情と熱意がなければならぬ。こどもの勝手気ままに行動させるということは放任にすぎない。また、わが子だけをよく導き、しつて、友人との生活によつて破られる心配が多分にある。わが子に正しい生活指導を行なうと同様、他人のこどもにも気がつけば忠告してやる心がけが望ましい。

★……

不良化を防ぐには——あたたかい

……ふくらむ……
……櫻の蕾……

……暖冬異変とはいえ、まだ時折皇居のおホ……
……りを吹き渡る肌寒い北風をよそに、桜の……
……蕾は日一日とふくらんで、しのび寄る春……
……の足音を伝えています。おホりのぬるん……
……だ水に、白鳥も片隅の日だまりを楽しん……
……でいます。やがてお彼岸もすぎる頃には……
……ボツボツ花の便りも聞かれることでしょ……
……う。



特別区民税の申告

三月三十一日までに

今日は、特別区民税申告の月です
お手もとに郵送いたしました特別
区民税の申告用紙に、必要事項を
ご記入の上、三月三十一日までに
区役所税務課、または、所轄の出
張所へご提出ください。(郵送に
よる受付もいたします)

この申告をなさる方は、つぎの
かたがたです。

①一月一日現在、当区内に居住
していた方。②当区内に居住し
ていないが、当区内に事務所、

区民団体で
生活改善講習会

区民団体協議会では、家庭の主
婦を対象に、生活改善講習会をつ
ぎの日程で開く。離婚問題、親子
関係など、生活上のいざこざをど
のようにしたらよいか、その改善
策を話し合おうというもの。

三月十七日神田公園区民館 講
師 東京地裁裁判官三浦嘉子氏
○十九日富士見町区民館 講師
○十七日同じく○二十日神保町
区民館 講師 東京地裁裁判官

事業所、または、家屋敷を持つ
ている方。③家族の方、同居人
住込の雇人も洩れなく記入して
下さい。④学生の場合は学校名
学年を書込んで下さい。
不明、ご不審の点の問い合わせ
は千代田区役所税務課課税第二係
〔電話〇一五一・八五三〕

千代田学藝講座

3月15日開講

会場 千代田図書館(九段下千代
田公会堂隣)
会場整理費 30円

第I部

3月15日(土) 乾 孝
人生の起加減
3月29日(土) 本多 顕彰
生活と文学
4月5日(土) 田中 澄江
女の生き方

第II部

4月12日(土) 山本 健吉
芭蕉について
4月19日(土) 奥野信太郎
中国小説の話
4月26日(土) 三宅 艶子
いまの世相から

主催 千代田区・千代田区教育委員会
千代田学問と芸術の会・新潮社

千代田図書館

鳥井光子氏

——いづれも午後七時から——

合唱と映画の夕

二十日夜区公会堂で

二十日午後六時から、九段下千代
田公会堂で、「合唱と映画の夕」
が、区教委主催でひらかれる。出
演合唱団は、千代田区民合唱団
「ボブラ」、木曜コーラス、東京
都民合唱団。上映映画は「青空の
仲間」、入場は無料。

マナスル遠征隊員の

山の話し

同じく区教委主催で、二十五日午
後六時から、千代田公会堂で「山
を愛し山に親しむ会」が開かれる
これには、マナスル遠征隊員大
塚博美氏の講演「私の山岳映
行」の後、映画「私の山岳映
傑作集」が上映される。入場無料

公会堂催し

〔三月〕
十五日 千代田区十周年記念式(午
後)
十八日 東京新聞料理講習会(午
前、午後)

二十日 九段中卒業式(午前、午
後) 区教委主催合唱と映画の
夕(夜)

二十一日 東販従業員文化祭(午
前、午後)

二十二日 東京生命保険組合文化
祭(午前、午後)

二十三日 桜ヶ丘女子学院卒業式
(午前) バレー発表会(午後)

二十五日 区教委主催音楽会(夜)
二十七日 東京労音映画とLPコ
ンサート(夜)

〔四月〕
五日 東京労音映画とLPコンサ
ート(夜)

六日 桜ヶ丘女子学院入学式(午
前)

千代田区の人口 (3月1日現在)

		前 月	本 月	差 引	
				増	減
人 口	世帯数	26,328	26,297	—	31
	男	67,627	67,411	—	216
	女	53,195	53,072	—	123
	計	120,822	120,483	—	339

十日 村田簿記学校入学式(午前)
十六日 東京都民合唱団発表演奏
会(夜)

陸海空自衛官募集

防衛庁では、ただいま昭和
三十三年第一次陸海空自衛
官募集を行なっています。
受付期間 三月一日～四月
十五日
年 令 満十八才以上二十
五才未満
試験 四月末～五月上旬
(入隊は六月から)
特 遇 二等陸海空士で俸
給約六、二〇〇円、ほか
衣食支給
志願される方は、希望別、
生年月日、氏名、現住所、
希望試験場を志願用紙に
記入の上、区役所総務課へ
ご提出下さい。